

NHKエンタープライズ 2021年度事業計画

2020年から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、私たちの社会、暮らしを一変させました。番組やイベントなどNEPの多くの事業も中止や見直しを迫られ、2020年度の売り上げは6年ぶりに減収に転じました。2021年度以降も、番組制作の委託費の減少やビジネスモデルの急激な転換など、NEPを取り巻く経営環境は厳しさを増す一方です。

そうした中、これまで以上に討議・検討を重ねて策定した中期経営計画には、新しい経営理念「Enterprises for All! 冒険・創造・貢献。社会のために、すべての人のために!」を掲げました。NHKグループの中核企業である、NEPの根幹には「公共」の精神があります。これを全社員が改めて見つめ直し、中期経営計画で示した5つの重点項目を柱にNHKの放送を支え、また社会にソリューションを提供するさまざまな事業に、変化を恐れず挑戦していきます。

NEPの強みは高いコンテンツ制作力と展開力、そして全国支社のネットワークです。社内および外部の才能との連携をさらに強化して磨きをかけ、若者からも支持されるSNS連動番組や、3D、AR、VRなど最新のデジタル技術を駆使した映像展示、リアル&オンラインイベントの制作を進めます。貴重な映像資産を教育機関のオンライン授業に提供したり、高画質化して番組に活用したりするなど、社会還元の取り組みも進めます。NEP本社と全国支社との連携で、地域の放送をより充実させ、また防災や医療などのイベント、フォーラムを各地で開催し、地域の安全・安心を守ります。また、国連が呼びかけたSDGメディア・コンパクトに、NEPはNHKグループとして初めて参加しました。さまざまな番組や「渋谷フレンズ」「高校生ボランティア・アワード」といったイベントの制作などでSDGsに貢献します。

そして、中間持株会社の設立も含めた大きな変革を見据えて、成長分野と縮小・撤退する分野を仕分けして、構造改革と経営資源の再配置を進めるとともに、全社のあらゆる分野でDXを行って業務の高度化・効率化を図るなど、より変化に強く、より質の高い会社を目指した絶えざる取り組みを推進していきます。

<2021-2023年度中期経営計画 重点項目>

- コア事業の革新 ～企業価値をさらなる高みへ～
- 新規事業の開拓 ～“新しい何か”への挑戦～
- 地域サービスの向上 ～全国ネットワークで日本活性化～
- Smart Work ～人生をより豊かに～
- SDGsへの貢献 ～人と人をつなぐ企業に～

<事業計画数値>

売上 625億円

純利益 7.7億円